

地理歴史科シラバス

学科	機械 電気 生産機械	学年	2	教科名	地理歴史	科目名 [単位数]	地理総合〔2〕	授業形態	講義、演習			
教科書・副教材等		46帝国 地総703 高等学校新地理総合 46帝国 地図702 新詳高等地図										
目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・地域による多様な自然環境や文化・立場・価値観について学習する。</li> <li>・身近な地域と社会全体の関わりについて理解を深める。</li> </ul>						評価の観点				
評価観点の規準		観点①知識・技能	地理に関わる諸事情に関して、内容を理解し知識として定着できたか。身につけた知識を活用できたか。				観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度			
		観点②思考・判断・表現	自分で思考し判断して答えを導き出したか。自分の意見を表現することができたか。									
		観点③主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしているか。									
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標								
1	1	第1部 地図でとらえる現代社会 第1章 地図と地理情報システム	1. 地球上の位置と時差	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緯度・経度での地球上の位置の示し方を学習する。</li> <li>・時差の仕組みについて学習する。</li> <li>・緯度と経度はその土地での気候の違いや時差を生み、多様な成果地や文化をもたらしていることを学習する。</li> </ul>	○	○	○					
	2		2. 地図の役割と種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の位置や領域の特徴、領土問題について学習する</li> <li>・現代世界の結びつきを学習する。</li> <li>・グローバル化に伴う人・モノ・資本の移動によって起きている問題を考える</li> </ul>	○	○	○					
	3				○	○	○					
	4	第2章 結びつきを深める現代世界	1. 現代世界の国家と領域	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期前半の学習内容を確認する。</li> </ul>	○	○	○					
	5		2. グローバル化する世界		○	○	○					
	6	定期考査	中間考査	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○					
	7	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	1. 世界の地形と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球上の多様な地形を学び、地形が人々の生活に与える影響を学習する。</li> </ul>	○	○	○					
	8		2. 世界の気候と人々の生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温や降水、風などの気候要素が人々の生活に与える影響を学習する。</li> <li>・熱帯・乾燥帯・温帯・亜寒帯・寒帯の気候が人々の生活に与える影響について学習する。</li> </ul>	○	○	○					
	9				○	○	○					
	10				○	○	○					
	11				○	○	○					
	12		定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○				
	2	14	第2部 国際理解と国際協力 第1章 生活文化の多様性と国際理解	3. 世界の言語・宗教と人々の生活 追究事例1, 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人々の特色ある生活文化をもとに、人々の生活文化が地理的環境からどのような影響を受けているか学習する。</li> </ul>	○	○	○				
15		4. 歴史的背景と人々の生活 追究事例1, 2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の多様性を学び異文化を尊重する姿勢を身につける。</li> <li>・言語と宗教が人々の生活に与える影響を学習する。</li> </ul>								
16					5. 世界の産業と人々の生活 追究事例				<ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的背景が人々の生活に与える影響を学習する。</li> <li>・農業や工業などの産業およびグローバル化が人々の生活に与える影響について学習する。</li> </ul>			
17		中間考査		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食糧問題、都市居住問題の現状や要因、解決に向けた取り組みなどについて学習する。</li> </ul>						○	○	○
18												
19					2学期後半の学習内容を確認する。							
20									○			
21		定期考査	○	○	○							
22		第2章 地球的課題と国際協力	1. 複雑に絡み合う地球的課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活圏にはどのような地理的課題があるか現代社会の諸問題について課題を設定して考察、解決の方策を考えまとめる。</li> </ul>	○	○	○					
23			2. 地球環境問題									
24	3. 資源・エネルギー問題											
25	4. 人口問題											
26	5. 食糧問題											
27	6. 都市・居住問題	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○							
3	28	第3部 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災	1. 日本の自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の地形や気候の特徴を学び、形成要因や地域差を学習する。</li> <li>・風水害、地震、火山、津波、都市型災害などの要因と特徴、被害について学習する。</li> <li>・災害の地域性、防災や減災の取り組みや課題を学習する。</li> </ul>	○	○	○					
	29		2. 地震・津波と防災									
	30		3. 火山災害と防災									
	31		4. 気象災害と防災									
	32		5. 自然災害への備え									
	33	第2章 生活圏の調査と地域の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちの生活圏にはどのような地理的課題があるか現代社会の諸問題について課題を設定して考察、解決の方策を考えまとめる。</li> </ul>	○	○	○						
	34						○	○	○			
35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○						
評価の方法		授業での活動状況 出席状況 課題 定期考査										

数学シラバス

学科	電気科	学年	2	教科名	数学	科目名 [単位数]	数学 I [1単位]	
教科書・副教材等	007実数 数学 I / 708 「高校数学 I」およびワークシート				授業形態	講義・演習		
目 標	中学校までの既習事項を復習して、数や式の計算を正確に行える能力を身につける。 数を実数まで拡張する意義を理解する。 また、式を多面的に見たり処理したりするとともに、1次不等式を事象の考察に活用できるようにする。						評価の観点	
評価観点の規準	観点①知識・技能	数を実数まで拡張する意義を理解し、無理数の計算ができる。 2次の因数分解について理解を深める。 不等式の会の意味や性質を理解し、1次不等式の解を求めることができる。					観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度
	観点②思考・判断・表現	問題を解くときにすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりできる。 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式を問題解決に役立てることができる。						
	観点③主体的に学習に取り組む態度	学んだことを活用し、問題に取り組もうとしている。						
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標				
1	1	第1章 数と式 第1節 整式	ウォームアップ 1 文字式のきまり	・正の数、負の数、分数の基本的な計算の仕方を確認する。 ・数学における文字の有用性を理解する。	○		○	
	2		2 整式	・単項式の次数と係数、多項式の次数と同類項の概念を理解する。	○		○	
	3		3 整式の加法減法	・計算規則に従い多項式の加法と減法を正確に処理する。	○			
	4		3 整式の加法減法				○	
	5		4 整式の乗法	・指数法則を理解し計算に利用する。	○			
	6	定期考査	1学期中間考査			○	○	○
	7		4 整式の乗法	・単項式どうし、単項式×多項式、多項式どうしの乗算を正確に行う。	○			
	8		4 整式の乗法					○
	9		4 整式の乗法				○	
	10		5 乗法公式による展開	・やや発展的な問題も公式を利用して要領よく展開できる。	○			○
	11		5 乗法公式による展開				○	○
	12		復習問題	・問題演習を通じて既習事項の定着を図る。			○	○
	13	定期考査	1学期期末考査			○	○	○
2	14		6 因数分解	・共通因数の概念を理解する。 ・基本的な因数分解の公式を利用して因数分解を正確に行う。	○			
	15		6 因数分解				○	
	16		6 因数分解			○		
	17		6 因数分解	・やや発展的な問題も含めて、因数分解に習熟する。			○	
	18		復習問題	・問題演習を通じて既習事項の定着を図る。			○	
	19		数と式に関する総合演習	・数と式に関する総合的な演習をする。				
	20	定期考査	2学期中間考査			○	○	○
	21	第2節 実数	1 平方根とその計算	・平方根の意味を復習し、問題演習を通じて理解を深める。 ・根号の性質を利用して乗算および分母の有理化の計算をする。	○			
	22		1 平方根とその計算					○
	23		1 平方根とその計算				○	○
24		2 実数	・数の概念を実数まで拡張することの意義を理解する。	○			○	
25	第3節 方程式と不等式	1 1次方程式	・等式の性質を利用して1次方程式を解く。	○	○	○		
26		1 不等式	・不等式の概念を理解し、不等号の取り扱いに習熟する。	○				
27	定期考査	2学期期末考査			○	○	○	
3	28		2 不等式	・不等式の概念を理解し、不等号の取り扱いに習熟する。			○	○
	29		3 不等式の性質	・不等式の性質を利用した計算を行う。	○			○
	30		4 1次不等式	・1次不等式の概念を理解し、その解を正確に求め数直線上に図示する。	○			○
	31		5 連立不等式	・数直線を利用して、連立不等式を解くことができる。			○	○
	32		6 不等式の応用	・問題の意図を読み取り、不等式に表すことができる。			○	○
	33		課題学習	・課題を通して、既習事項の理解を深め、関心を高める。 ・主体的に取り組む、数学の良さを認識する。	○			○
	34		課題学習					○
	35	定期考査	学年末考査			○	○	○
評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業観察</li> <li>・課題プリントの取り組み状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>						

保健体育シラバス

学科	電気	学年	2	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	体育 [2]	授業形態	演習 講義
教科書・副教材等		現代高等保健体育(50大修館 保体701)							
目標		運動の合理的、計画的な実践を通して、これまで学習した知識を深めるとともに技能を高め、自己の状況に応じて体力の向上を図り、運動の楽しさや喜びを深く味わい、主体的に取り組む姿勢を身に着ける。						評価の観点	
評価観点の規準		観点①知識・技能	種目ごとに必要な体力要素があり、関連させた練習で技能や体力を高められることが理解できた。				観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度
		観点②思考・判断・表現	より良いマナーで健康や安全を確保できるように、活動を振り返るとともに仲間提案することができた。						
		観点③主体的に学習に取り組む態度	危険を理解して安全に留意して実施し、結果を受け入れ、ルールやマナーを守って活動することができた。						
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度		
1	1	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	教科の意義、1年間を通じて、授業に対する注意事項を理解する。集団で行動するために必要な集団行動を身につける。体力の現状を把握し、体力要素の意味を理解して、体力改善に生かす。スポーツテストの種目練習、その体力要素に関する体力を高める運動を通じて、各体力の要素を高める。	○	○	○		
	2				○	○	○		
	3				○	○	○		
	4	定期考査	1学期中間考査		○	○	○		
	5	フレッシュテニス	ルール サービス レシーブ ゲーム	ネット型のゲームの特性を理解し、相手の動きや球種に応じた作戦を立て、シングルス及びダブルスのゲームができるようにする。ダブルスに関わる技能としては、相手の球種へ対応するためのお互いの位置取り方などパートナーとの連携などでの自己の役割を理解し、ゲームで生かせるようにする。個人的技能としては、フォアハンド、バックハンドによるロング、ショート、カットなどの打法、サービス、レシーブなどの身につけるようにする。	○	○	○		
	6				○	○	○		
	7				○	○	○		
	8				○	○	○		
	9	球技大会	フレッシュテニスで技能、戦術、加えてチームへの協力、大会運営にも積極的に参加する。		○	○	○		
	10	体育理論	技能の上達過程と練習	スポーツにおける技能の上達過程とそれらをふまえた効果的な練習方法について説明することができる	○	○	○		
	11				○	○	○		
	12	定期考査	1学期期末考査		○	○	○		
	2	14	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えるようにする。	○	○	○	
15		ダンス	創作ダンス	現代的なリズムに乗ってリズムカルに身体を動かし、心身の開放感を味わい仲間と交流することができるようにする。またリズムを変化させたりステップや空間を工夫して踊ることができるようにする。	○	○	○		
16					○	○	○		
17		マット運動	後転 開脚後転 伸膝後転 後転腕はねとび 後転倒立	自己の能力に応じて技を選択、習得し、それらの技を組み合わせる連続技とする。また、技を改善したり、技を新たに加えたりして、演技の内容を豊かにする。	○	○	○		
18					○	○	○		
19					○	○	○		
20					○	○	○		
21		(定期考査)	2学期中間考査		○	○	○		
22		バドミントン	基本技能 応用技能 審判法 ゲーム	ラケットやシャトルを使うネット型ゲームの特性を理解し、ハイクリア、スマッシュ、ドロップ、ドライブ、ヘアピンなどのフライを使い分け、相手の動きやフライに対応したシングルの試合展開ができるようにする。	○	○	○		
23					○	○	○		
24	○				○	○			
25	球技大会	バドミントンの種目の総決算とし、技能、戦術に加えて、チームへの協力、大会運営に積極的に参加できるようにする。		○	○	○			
26	体育理論	効果的な動きのメカニズム	動きの開始と持続についてのメカニズム、筋活動のコントロールと状況判断について理解し、説明することができる。	○	○	○			
27				○	○	○			
28	定期考査	2学期期末考査		○	○	○			
3	29	体づくり運動	オリエンテーションおよび体づくり運動	体育に関する意義、注意事項を理解する。長期休業後において、体ほぐし運動で、体の調子を整えることができるようにする。	○	○	○		
	30	バスケットボール	個人技術 オフェンス技術 つなぎの技術 ディフェンス技術 ゲーム	ゴール型のゲームの特性を理解し、集団技能や個人的技能を活用して学習段階に応じて作戦を立て、ゲームをする。集団的技能としては、速攻、セットオフェンス、マンツーマンディフェンス、ゾーンディフェンス等での自己の役割を理解し、ゲームで生かす。個人的技能としては、パス、キャッチ、ドリブル、シュート、フットワーク、フェイントなどを身につける。	○	○	○		
	31				○	○	○		
	32				○	○	○		
	33	サッカー	フットサル	手を使わずボールを扱いゴールにシュートして得点することを競うゴール型のゲームの特性を理解し個人的技能であるパス、トラッピング、シュート、ドリブルなどを身につけてゲームに生かすことができるようにする。	○	○	○		
	34				○	○	○		
	35	体育理論	ライフスタイルに応じたスポーツ		○	○	○		
	36	定期考査	学年末考査		○	○	○		

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業での活動状況</li> <li>・自作課題プリントの取り組み状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
-------	---

保健体育科シラバス

学科	電気	学年	2	教科名	保健体育	科目名 [単位数]	保健 [1]	授業形態	講義 演習	
教科書・副教材等		現代高等保健体育(50大修館 保体701)								
目 標		個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。						評価の観点		
評価観点の規準		観点①知識・技能	一人ひとりが健康に関心を持ち、健康を支えた適切な環境づくりに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることを理解している。				観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度	
		観点②思考・判断・表現	健康に関する環境づくりと社会参加について、健康にかかわる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。							
		観点③主体的に学習に取り組む態度	健康に関する環境づくりと社会参加について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。							
学期	週	単元名	学習内容		到達度目標					
1	1	生涯を通じる健康	オリエンテーション		教科の意義、授業への注意事項を理解する。		○			
	2		ライフステージと健康		ライフステージと健康の関連について説明できる。			○		
	3		思春期と健康		思春期における体の変化を、性別に分けて説明できる。			○		
	4		性意識と性行動の選択		性意識の性差の説明や、性行動の選択に影響を及ぼす例を挙げることができる。			○		
	5		妊娠・出産と健康		妊娠・出産の過程における健康課題、活用できる保健サービスの例を挙げることができる。			○		
	6		定期考査					○	○	
	7		避妊法と人工妊娠中絶		家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響を説明できる。			○		
	8		結婚生活と健康		心身の発達と結婚生活の関係、結婚生活を健康的に送るため必要なことを説明できる。					○
	9		中高年期と健康		加齢と高齢社会について説明できる。					○
	10		働くことと健康		働くことの意義と健康のかかわりについて、健康問題について説明できる。					○
	11		定期考査					○	○	
	12		定期考査					○	○	
	2		14	健康を支える環境づくり	労働災害と健康		労働災害の種類と原因について説明できる。		○	
15		健康的な職業生活			職場の健康に関する取り組みを説明できる。				○	
16		大気汚染と健康			大気汚染の原因と健康への影響について説明できる。大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できる。			○		
17		水質汚濁・土壌汚染と健康			水質汚濁・土壌汚染の原因とその健康影響について、複合的な環境汚染について説明できる。			○		
18		定期考査						○	○	
19		環境と健康にかかわる対策			環境汚染による健康被害防止方法、産業廃棄物の処理について説明できる。					○
20		ゴミの処理と上下水道の整備			ゴミの処理の現状やその課題、上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。					○
21		食品の安全性			食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について、個人の役割を説明できる。					○
22		食品衛生にかかわる活動			食品の安全性と健康のかかわり、今日的課題について説明できる。					○
23		定期考査						○	○	
24		保健サービスとその活用			保健行政や保健サービスについて例を挙げて説明できる。					○
25		医療サービスとその活用			わが国における医療保険のしくみと医療機関の役割について説明できる。					○
26		医薬品の制度とその活用			医薬品の使用法、安全性を守る取り組みについて説明できる。			○		
27	さまざまな保健活動や社会的対策		国際機関・民間機関などの保健活動、行政機関による社会的対策について説明できる。			○				
28	健康に関する環境づくりと社会参加		健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。					○		
29	定期考査					○	○			
3	29	保健サービスとその活用		保健行政や保健サービスについて例を挙げて説明できる。					○	
	30	医療サービスとその活用		わが国における医療保険のしくみと医療機関の役割について説明できる。					○	
	31	医薬品の制度とその活用		医薬品の使用法、安全性を守る取り組みについて説明できる。			○			
	32	さまざまな保健活動や社会的対策		国際機関・民間機関などの保健活動、行政機関による社会的対策について説明できる。			○			
	33	健康に関する環境づくりと社会参加		健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。					○	
	34	定期考査					○	○		
	35	定期考査					○	○		

評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出席状況</li> <li>・授業での活動状況</li> <li>・自作課題プリントの取り組み状況</li> <li>・定期考査</li> </ul>
-------	---

英語科シラバス

学科	電気	学年	2	教科名	外国語	科目名 [単位数]	英語コミュニケーション I [2]	授業形態	講義・演習
教科書・副教材等		2東書 CI / 701 「東京書籍 All Aboard! English Communication I」 NHK100語でスタート英会話「アメリカ編」、「オーストラリア編」、「イギリス編」							
目標									
1年次の学習事項を復習しながら、日常的な英会話のスキットを通してさらに実用的な英語でのコミュニケーション能力を育成する。									
評価観点の規準									
観点①知識・技能			単語や表現を覚え、言語活動を行うことによって、実際の意思疎通ができる技能を身につける。						
観点②思考・判断・表現			意思疎通を行う目的や場面、状況などに応じて適切な英語で表現でやり取りができるようにする。						
観点③主体的に学習に取り組む態度			質問に対する発話を適切に行ったり、適切な準備をして課題提出やプレゼンや発表などを行える。						
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点①知識・技能	観点②思考・判断・表現	観点③主体的に学習に取り組む態度		
1	1	既習文法事項の整理	文法のまとめ1~4	1年次に学習した文法事項を練習問題で確認する。	○	○	○		
	2	Lesson 1&Lesson 2の復習	Breakfast around the World	過去表現について確認し、過去の出来事について応用表現ができる。	○	○	○		
	3		Australia's Cute Quokkas	進行形について確認し、応用表現ができる。	○	○	○		
	4	Lesson 3&Lesson 4の復習	A Train Driver in Sanriku	助動詞can, will の用法について確認し、それを使った応用表現ができる。	○	○	○		
	5		A miracle mirror	不定詞の用法について確認し、それを使った応用表現ができる。	○	○	○		
	6	定期考査	中間考査及び補充学習	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	7	NHK100語でスタート英会話「アメリカ編」	疑問文や否定文	be動詞、一般動詞を用いた疑問文、否定文の表現を学び、それを使って簡単な日常的な表現ができる。	○	○	○		
	8		基本動詞を用いた表現	have, make, be, take等を用いた慣用表現について学び、その用法を用いて簡単な日常的な表現ができる。	○	○	○		
	9	Lesson 5&Lesson 6の復習	Learning from the Sea	動名詞の用法について確認し、それを使った応用表現ができる。	○	○	○		
	10		A Funny Picture from the Edo Period	受け身表現について確認し、その応用表現ができる。	○	○	○		
	11	文法のまとめ①	過去表現、進行形、助動詞の用法	過去表現、進行形、助動詞を用いた表現や文法事項を確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○		
	12	文法のまとめ②	不定詞、動名詞、受け身表現	不定詞、動名詞、受け身表現を用いた表現や文法事項を確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○		
	13	定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○		
2	14	1学期の復習	1学期に学習した文法事項の復習	1学期の学習内容に関わる復習問題を解くことができる。	○	○	○		
	15	Lesson 7&Lesson 8の復習	A Diary of Hope	比較表現について確認し、それを使った応用表現ができる。	○	○	○		
	16		A Door to a New Life	現在完了について3種の意味を理解し、それを使った応用表現ができる。	○	○	○		
	17	Lesson 9&Lesson 10の復習	Fighting Plastic Pollution	名詞を後ろから説明する分詞の用法を確認し、それを使った応用表現が理解できる。	○	○	○		
	18		Pigs from across the Sea	関係代名詞(主格)の用法を確認し、それを使った応用表現が理解できる。	○	○	○		
	19	文法のまとめ 2	現在完了・関係代名詞	比較、現在完了、関係代名詞等の用法について確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○		
	20	定期考査	中間考査及び補充学習	2学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	21	NHK100語でスタート英会話「オーストラリア編」①	基本動詞を用いた表現①	say, get等を用いた慣用表現について学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○		
	22		助動詞を用いた表現	will, wouldを用いた慣用表現を学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○		
	23	NHK100語でスタート英会話「オーストラリア編」②	基本動詞を用いた表現①	do, go, come等を用いた慣用表現について学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○		
24	関係詞を用いた表現		what, whichを用いた慣用表現を学び、それらが使われた表現を理解することができる。	○	○	○			
25	文法のまとめ③	基本動詞を用いた慣用表現	基本動詞を用いた慣用表現について確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○			
26	文法のまとめ④	関係詞を用いた慣用表現	関係詞を用いた慣用表現について確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○			
27	定期考査	期末考査及び補充学習	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○			
3	28	2学期の復習	2学期に学習した文法事項の復習	2学期の学習内容に関わる復習問題を解くことができる。	○	○	○		
	29	NHK100語でスタート英会話「イギリス編」①	代名詞、前置詞を用いた表現	it, this, that等を用いた慣用表現を学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○		
	30		of, for, on等を用いた慣用表現を学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○			
	31	NHK100語でスタート英会話「イギリス編」②	前置詞を用いた表現	at, with, about等を用いた慣用表現を学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○		
	32		from, as等を用いた慣用表現を学び、それらを使って表現することができる。	○	○	○			
	33	文法のまとめ⑤	代名詞、前置詞の用法	代名詞、前置詞を用いた慣用表現について確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○		
	34	文法のまとめ⑥	前置詞などの用法	前置詞を用いた慣用表現について確認し、それらに関する問題を解くことができる。	○	○	○		
	35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○		
評価の方法		<b>【授業等】</b> ・ワークシートによるクイズ、小テスト、リスニングテスト、課題、プレゼンテーション発表 <b>【定期考査】</b> ・テストの設問、リスニングテスト、インタビューテスト							

シラバス

学科	電気科	学年	2	教科名	家庭	科目名 [単位数]	家庭総合 (2単位)	授業形態	講義・実習・実験
教科書・副教材等		大修館書店 家総705 Creative Living「家庭総合」で生活をつくらう							
目標		・人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解と、それらに関する技能を体験的・総合的に身につけるようにする。 ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出し、課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。 ・社会の様々な人々と協働しながら、生活文化を継承し、家庭や地域の生活の向上を図ろうとする実践的な態度を養う。							
評価観点の規準		観点①知識・技能 生活を主体的に営むための知識と、それに係る技能を身につけている。 観点②思考・判断・表現 生涯を見通して、家庭や地域社会における課題を設定し、解決する力を身につけている。 観点③主体的に学習に取り組む態度 社会の様々な人と協働し、課題の解決に主体的に取り組んだり、家庭や社会生活の向上を図るために実践しようとしている。							
学期	週	単元名	学習内容	到達度目標	観点① 知識・技能	観点② 思考・判断・表現	観点③ 主体的に学習に取り組む態度		
1	1	第5章 高齢期の生活のマネジメント	①人生100年時代の高齢期	・高齢期とはどのような時期であるかを考え、様々な過ごし方があることが理解できる。	○	○	○		
	2		②年をとると変わる事	・高齢者の心身の変化の特徴を理解し、高齢者が自立した生活をする方法をまとめる。	○	○	○		
	3		③高齢期の生活を支える	・高齢期の生活課題を学び、高齢者福祉についてもその理念と制度について理解する。	○	○	○		
	4		④介護を支える	・介護保険制度のしくみを理解し、その必要性と課題について自分の考えをまとめる。	○	○	○		
	5		⑤これからの高齢社会	・高齢社会の問題について学び、地域社会が果たす役割について理解する。	○	○	○		
	6	定期考査	中間考査及び補充学習	1学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	7	第6章 共生社会をつくる	①生活課題の乗り越え方	・生活を支える福祉や社会的支援について学び、4つのセーフティネットを理解する。	○	○	○		
	8		②みんなで支え合うしくみ	・社会保障制度について理解する。	○	○	○		
	9		③ともに生き、社会をつくる	・共生社会の理念について理解し、ともに支え合うことの重要性について考察できる。	○	○	○		
	10	第7章 持続可能な社会をつくる	①地球が危ない	・人類が地球環境に影響を及ぼしていることを学び、SDGsの取り組みをまとめる。	○	○	○		
	11		②ライフスタイル再考	・個人のライフスタイルの変容について学び、環境問題に対する解決策を考えて発表する。	○	○	○		
	12		③めざせ！持続可能な社会	・環境問題に関する様々な考え方を理解し、偏りのない視点で問題を見る姿勢を身に付ける。	○	○	○		
	13	定期考査	期末考査及び補充学習	1学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○		
2	14	第8章 経済生活のマネジメント	①生活を営むためのお金と経済のしくみを知ろう	・経済的に自立することの意味を学び、家計のしくみについて理解する。	○	○	○		
	15		②お金と上手につきあう術と消費生活について学ぼう	・経済計画とリスク管理の方法を学び、消費と契約について理解することができる。	○	○	○		
	16		③キャッシュレス社会と「お金を借りる」ということのしくみ	・キャッシュレス化について学び、クレジットカード利用のしくみについて理解できる。	○	○	○		
	17		④消費者トラブルと消費者保護の法律としくみ	・多重債務の問題について考え、クーリングオフ制度について理解する。	○	○	○		
	18		⑤情報社会を生きる	・情報社会における情報管理の重要性について考え、理解できる。	○	○	○		
	19		⑥私たちが社会を動かす	・消費者には権利だけでなく、責任も伴うことを理解する。	○	○	○		
	20	定期考査	中間考査及び補充学習	2学期前半の学習内容を確認する。	○	○	○		
	21	第11章 住生活のマネジメント	①日本の住文化を知ろう	・住まいは、地理・歴史・文化とともに形づくられていることを学び、理解する。	○	○	○		
	22		②住む人の生活と住まい	・ライフスタイルやライフステージに適した住空間があることを理解する。	○	○	○		
	23		③心地よく暮らすために	・光・熱・風通しを活かした住まいの工夫を学び、それを活用する方法を考えてまとめる。	○	○	○		
24	④安全に安心して暮らす		・住まいの防犯対策と防災対策について考えて、まとめる。	○	○	○			
25	⑤住まいを長く使う		・住まいの寿命を延ばすための計画的なメンテナンスについて理解する。	○	○	○			
26	⑥住環境を見つめてみよう		・空き家の増加と、施設の老朽化の問題について学び、まとめる。	○	○	○			
27	定期考査	期末考査及び補充学習	2学期後半の学習内容を確認する。	○	○	○			
3	28	第10章 衣生活のマネジメント	①人と被服とのかかわり、和服	・被服の歴史と機能について学び、和服と日本文化について理解する。	○	○	○		
	29		②快適な被服の条件	・快適な被服について考え、自らの経験や考えをまとめて発表する。	○	○	○		
	30		③夏は麻、冬は毛の理由	・被服に使用される繊維の代表的な種類と特徴を理解する。	○	○	○		
	31		④健康と安全を守る被服	・被服による健康被害について学び、その対策について考えて、まとめる。	○	○	○		
	32		⑤長持ちさせる手入れ	・洗剤の働きと汚れが落ちる仕組み、取扱説明書の意味について学び、理解する。	○	○	○		
	33		⑥被服の3R、実践してる？	・被服廃棄の現状を理解し、被服という資源をどのように循環させるか考えて、まとめる。	○	○	○		
	34		⑦オリジナルの被服をつくる	・被服製作に必要な技術を学び、それを用いて被服を製作することができる。	○	○	○		
	35	定期考査	学年末考査及び補充学習	3学期の学習内容を確認する。	○	○	○		

評価の方法	【授業等】 ・ワークシート、課題、プレゼンテーション発表、Q&A 【定期考査】 ・テストの設問
-------	--